

# 森から学ぶESD（持続可能な開発のための教育）の実践

イベントの延べ参加者数	231人
イベント参加者の満足度	91%
活動の全体目標に対する達成度	58%



活動前の集合写真

## ◆成果と工夫したポイント

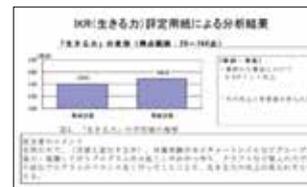
- 成果** 高萩市内の全小学校の5校で自然体験活動事業を実施し、国立青少年教育振興機構で開発したIKR（生きる力）評定用紙により測定した結果、5校のうち4校で、「生きる力」の向上が見られた。
- 工夫** 自然体験活動事業では、子どもたちの興味関心を引くため、幅のあるアクティビティを提供した。

## 課題

地域の自然と触れる機会の減少傾向にある青少年のために、森林を使った環境教育を提供すること。

## 活動内容

新たな自然体験活動の場として開発を始めた、茨城県高萩市のキャンプフィールドを使用。市内全小学校から参加者を得て、参加者が環境への取組みを重要な課題として認識し、自発的に環境保全・環境美化に取り組む態度を身につけることを目的に、「しぜんとあそびデイキャンプ in 高萩スカウトフィールド」を開催。林業体験、ネイチャートレイル、火起こしとおやつ作り、クラフトなどの各種自然体験アクティビティを実施した。



事業評価結果（IKR 評定）  
生きる力の向上

## 今後の課題

ホームページで、「活動の意義と効果」を掲載することと、今後も引き続き教育委員会と連携し、この活動を小学校の授業の一環に位置づけ、継続性のある活動とすること。